

## 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 第2回福山地域部会 会議録（要旨）

### 1 日 時

2017年（平成29年）1月30日（月）14:00～15:40

### 2 場 所

福山市役所 3階 小会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員（20名）

渡邊寛人委員（代理 渡辺徹），渡辺徹委員（代理 毛村正章），神原昌弘委員，吉本伸久委員，加藤勇樹委員（代理 木山政紀），畦坪和範委員，岡森正人委員，山田進一委員（代理 山田康文），堀江豊委員（代理 岸部明和），中本俊幸委員（代理 寺尾直樹），後藤宏暢委員（代理 米田大輔），和田秀俊委員，藤井智恵子委員，藤井孝紀委員，渡邊一成委員，茅原裕則委員（代理 赤澤大），木村洋委員（代理 東山聖恵），藤井基博委員，山脇敬治委員，岡本浩男委員

#### (2) 事務局（4名）

神田都市部長，神囿都市交通課長，中津公共交通担当次長，上田主事

#### (3) 傍聴者（0名）

### 4 会議の成立

委員20名中，代理出席を含め20名出席で，委員の過半数が出席しているため，福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約第7条第2項の規定により会議が成立

### 5 協議事項

#### (1) 議事

- ①福山・笠岡地域公共交通網形成計画（素案）について
- ②計画の策定及び推進等に係る今後の予定について

### 6 資料

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・福山・笠岡地域公共交通網形成計画（素案）（会議資料）
- ・計画の策定及び推進等に係る今後の予定について（議事（2））

### 7 協議内容

#### (1) 部会長挨拶

改めまして皆さんこんにちは。1ヶ月経ちましたが，本年もよろしくお願ひいたします。先ほど事務局の方から連絡がありましたように，今日は地域公共交通網形成計画（素案）の議論になります。いわゆるマスタープランの素案を皆さんにご検討いただくという会議になろうかと思っています。

マスタープランは，平たく言うと基本的な考え方あるいは方向性を示しているものです。このため，抽象的な表現が多いかと思いますが，是非とも皆さんにおかれましては，各お立場から，自分達が普段公共交通で思っている課題あるいは公共交通に対する取組，事業がどこに入ってい

るのか、特に事業については、この中に入っていないと次年度の具体的な取組になりませんので、是非ともその辺をご覧頂きたいと思います。勿論、わからない場合には、私はこのように思っているのだが、それはどこに入っているのかとか、そのような質問でも結構でございますので、マスタープランが是非とも皆さんのお考えの基本となるようなものになるように議論をいただければと思っております。よろしく願いいたします。

## (1) 議事

### ①福山・笠岡地域公共交通網形成計画（素案）について

事務局：資料により説明。

部会長：はい、ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたら、遠慮なくご意見いただければと思います。いかがでしょうか。

私の方から、68ページが真っ白ですが、これは何か意味があるのでしょうか。

事務局：これは特に意味はなく、69ページの表が右側にあったほうが見やすいためです。

部会長：はい、わかりました。

それから84ページに計画事業2として交通結節点における乗り継ぎ・待合い環境の改善ということで整備例が松永駅北口となっておりますが、これはどういう意味合いで、松永駅北口を取り上げられたのでしょうか。

事務局：実際に、鉄道と路線バスの結節があるところをみますと福山駅が一番大きいのですが、福山駅を例に出すのもと思い、松永駅にしました。ただ、他にもできていないような駅もあると思いますので、そういったことを含めて検討していきたいと思っています。

部会長：はい、ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

委員：61ページの乗合タクシーの定義が運送法とは若干違うので、この定義はタクシー事業者へのアンケート調査で用いたものであるという旨を明記した方が良いと思います。

委員：網形成計画ですが、地域の活性化とか、あるいは公共交通をどのように使っていくかということが計画に入っていないなければならないということが1点と、67ページに基本構想が出ていますが、より具体的な方針やこういうかたちでつくっていきますということが、できるだけ詳しく書いていただいた方が良いのではと思います。また、最後の90ページと91ページがもっと詳しい内容で、どのようなことを具体的につくっていくかということが書いてあればと思います。あともう1点、77ページに観光の話が入っていますが、観光目的というのも非常に大きな問題になってくると思いますので、広島空港とかそういったところの関係が何らかのかたちで入った方が良いのかというのもご検討いただければと思います。以上です。

事務局：3、4ページについては、現在の都市マスタープランを挙げていただいています。それらと連携をするということで、2ページにありますように、各計画、上位計画や関連計画と連携をして、この計画の位置付けがされているので、それらとの連携をするということはあるかと思えます。

67ページには、基本的な方針として4つの方針があります。それを具体化したものが、77ページ以降に書いてあります。しかし、ここでは路線や地名は書いていません。これは方針を出しているだけであり、そこについては来年度以降、これから再編実施計画をつくっていく中で対応していきたいと考えています。ここで、具体的な再編内容を出していく。路線の再編につきましても、この資料で言いますと、78、79ページで経常収益率15%という1つの基準を挙げていますが、これを目安にして、路線再編を進

めていく。新たな利用形態であるとか、そういったものに取り組んでいくという意味であります。では、どの路線を対象とするかというのは、実態がありますので、それらを協議しながらやっていくことになると考えています。そういう意味で、来年度から、78ページの方針のところを書いてありますが、再編の考え方として緊急性の高い路線のサービス見直しはすぐにでもやっていくということを考えております。あと、観光関係については、これも考え方だけを示していますが、具体的にこういう計画をしたいとか何かあるわけではないですが、ただこの6年間の中で、そういう観光にも着目したかたちでやっていくということです。空港をどうするかということは触れていませんが、高速バスについては、交通ネットワークの1つであると考え、入れています。

67ページは、基本的な考え方を示したもので、実際に、例えば福山の地形を考えた時の結節点であるとか、再編するという具体は次の検討と考えています。具体的には来年、再来年から再編実施計画を策定しようと考えておりますので、そういった中で具体的なことを考えていきたいと思っています。

委員：網形成計画には、基本的にどのようなことをしようというイメージ的な言葉があって、それらが全部挙げられています。そして、計画の部分で来年から実施しようとなっていて、そうすると、イメージだけで進めていく方向性を決めて、来年度まであと2ヶ月になりますが、すぐに実施することになると、1つずつ路線を決めるということにはならないと思いますが、イメージが決まったら来年実施するにあたっては、どこの路線をやっても良いということになってしまいそうな気がします。このため、この計画の中に、来年度は詳細な内容について検討しますということが、ここにはないので、抽象的なイメージから即実施というかたちになっているので、わかりにくいのではないかと思います。来年、詳細な部分について決めていくことが記載されていれば、来年から詳しいことを決めながら進めていくことがわかりますし、そうでなければ、この中に多少具体的な内容も含まれてないと来年から実施できないというような話ではないかと思います。

事務局：78ページに再編のこととか書いてあり、収益率15%の路線というのは系統で見ればすぐわかると思うのですが、そういったところを候補として路線再編を進めていくことを具体的にやっていきたいと考えています。また、計画事業で言うと計画事業2であるとか、交通結節点のことであるとか、そういうことについてはこれから議論していく中で検討していきたいという考えです。

部会長：2ページに、もし書けるのであれば、実はこの網形成計画を受けて、次に例えば再編実施計画をつくりませんか、そういうことを記載できるのであれば、そこで何か具体的な計画がつけられるということは、わかっただけの気がするのですが、そこがもし具体的に書き込めるのであれば、書いた方が位置付けとして良いのかなと思います。この網形成計画とその関連計画の繋がりはここでわかるのですが、ではこのマスタープランを受けた先はどうなるのかということがわからず、さっきお話しにあったようにこれで直ぐに事業が動くかということそうではないということがわかるので。

事務局：来年度から再編実施計画を策定しようと思っていますので、そういったことを書き込んでいくことにします。

副部会長：2ページ目の計画の位置付けで、第四次福山市総合計画後期基本計画（2012年（平成24年））という記載があります。これにつきましてこの計画、いわゆる網形成計画を

つくりはじめるときには、まだ我々の最上位計画はこの総合計画でありました。しかし、この総合計画は今年度改定するという方向性が決まりましたので、ここについてはこの網形成計画の上位計画と位置づけられる総合計画については、第5次という記載をすることが適当ではないかと思っておりますので、変更した方がよいのではないかと思います。この網形成計画は、今もご議論ありましたけれど、いわゆるマスタープラン、考え方を示すものということで、個別具体は次年度からの再編実施計画という表現を用いる等、事務局の方で検討された方がよいのではないかと思います。

事務局：総合計画の方は、今年度策定中でありますので、第5次に修正させていただきます。

委員：実施内容を再編実施計画だけに記載してしまうと、再編実施計画の要件を満たさなかった時に何にもできなくなってしまう。このため、網形成計画はマスタープランではありますが、いろんな自治体をみている中でこの計画だけで進めている自治体がほとんどです。どこまで具体的に出すかという話はいつも出てくるのですが、全部書くということは現時点では不可能ですし、例えば見直し基準を決めている中で、マスタープランまで留めて、後は事務局、自治体の判断でこのようにしましょうと進めていく。具体的に書くに越したことはないですが、そこまで具体的に書くのを求めるというのも厳しいのかなと思います。

部会長：では具体的な計画名を出さないで、これはマスタープランなので、このマスタープランに基づいて具体的な施策事業の検討を進めていく、みたいなホワっとした言い方を、この後は考えているんですよというだけはひとまず書いておくくらいはどうですか。

2ページの書き方については、事務局と会長預かりにさせてもらって、今の議論を踏まえて具体的なことは書かないで、ただこの後にはきちんと考えていることを盛り込むってことで話しを進めさせていただきたいと思います。

委員：今までの会議に出席していなかったもので、既にもうご説明はあったかもしれないのですが、5点ほど質問をさせていただきます。

70ページの地域公共交通ネットワークのところ、区分の鉄道のところ対象地域内、また対象地域と周辺都市との移動を支えるJR山陽本線、井原鉄道が該当するとあるのですが、これは福塩線が入っていない理由があれば教えていただきたいです。

あと72ページなのですが、基本方針の目標1-1市民の交通環境への満足度の向上という、満足度の向上ですが、指標としては不満割合を解消していく。なぜ不満なのかというのが素朴な疑問です。通常でしたら満足、やや満足というのがこれだけ増えましたというのが普通の指標だと思うのですが。

74ページ、目標2-1で路線バスの健全化の向上の目標値、15%未満の系統数を8系統以下に抑えますよというのがありますが、この8系統というのは絶対残さないといけない系統、生活上絶対必要だというイメージがあるのかどうかというのを教えていただきたいです。

84ページ、先ほどもお話があったのですが、イメージとしてJR松永駅北口が写真としてあるのですが、このイメージが松永駅北口は市としてのイメージなのか。例えば交通結節点であれば雨風がしのげるような壁がほしいとか思うのですが。このため、無理して福山市内の写真でなくても、例えば市外、他の地域の写真でも良いと思います。こういう交通結節点を目指しますというようなイメージに近いものを使われたほうが良いと思います。ちょっと寂しい感じがするので。

それと、5つ目として90ページで、評価の方法と事業展開の表が示されていますが、PDCAをまわしていきますと計画の中でもうたわれているのですが、PDCAをまわすのであれば、91ページの施策の部分が年度毎に示されていますが、もう少し施策を分解しないとPDCAはまわらないのではないかというのが個人的な思いとしてあります。

事務局：70ページについては、福塩線が入った方が良いと思いますので、入れさせていただきたいと思います。72ページ、何故不満割合かということですが、これは不満点を解消して、それによって満足度を増やすというイメージです。74ページ、これは実際には系統数をゼロにしたいところなんです、実際に路線を再編する場合に系統と路線、となるといくつかの系統が集まって1つの路線になっていますので、その単独の系統が15%を切っている、全体で15%以上の場合もありますし、その逆もあるので。このため、目標値としてはそこで何系統にするというのが難しいので、とりあえず半分にしました。実際には16%以下の系統というか、路線をなくすというイメージを考えているところです。84ページのイメージはちょっと検討させてください。言われる通りのところもあると思いますので、イメージに合うようなものに差し替えさせていただきたいと思います。91ページについては、事業展開についてはもう少しPDCAがわかるようなものに検討していきたいと思います。

委員：先ほど言っていた福塩線については、是非とも入れていただいた方が良いのではないかと思います。91ページの計画事業2の施策②のバス停留所における利用環境整備とありますが、この利用環境整備はどのようなことをイメージされたことなのか教えていただけますでしょうか。

事務局：これは、85ページの上の段にバス停留所における利用環境整備ということで、整備の例としては例えば上屋であるとか、ベンチであるとか、バス接近表示システムであるとか、老朽化・破損しているバス停留所の改修であるとか、そういったハード的な部分を、現場条件もありますので全て実施するというわけにはいかないと思いますが、いくらかそういうところを環境整備を整えていくということです。

委員：具体的な場所等も想定されていると思いますが、これはバスだけではなく、やはり山陽本線とか、福塩線、特に福塩線で非常に利便性といいますか、府中からのお客さんが大変多いということでたくさんの方が利用されています。バスもそうですが、その辺の環境整備についてももう少し福塩線等、しっかり見ていただきたい。駐輪場とか、それからトイレとか。特にトイレなんかは一世代前のような格好のトイレで非常に劣悪極まる様な環境になっています。非常に利用客が多い中で、そういったことで海外からの観光客も来られるという中で、非常に福塩線のトイレ、又は待合室、駐輪場等の整備についても、今後、検討していただきたいと思います。

委員：利用状況に応じてというのが非常に大きいと思いますが、福塩線に関しては様々なところから、今おっしゃったトイレとか、そういう声は頂いております。すぐ実現できるかという難しい部分はありますが、皆さんにご協力いただきながらできることから、できることをしていきたいと思います。

委員：64ページの乗務員の不足というところで、ここの書きぶりだけみると、バスの方がメインで書いてありますが、船も、船員さんの不足というのはあるので、アンケートの方にも出ていたと思うので、追加した方が良いかと思います。

あと、77ページで、目的を達成するための事業として、観光目的等での公共交通利用の促進が出ていますが、67ページの基本方針の中で、観光については④で読み込むの

かと思いますが、どこで観光の部分について読むのか教えてもらえればと思います。それから72ページ以降の評価指標のところですが、現況が福山市、笠岡市とわけて書いてありますが、目標のところはまとめてしか出ていません。せっかく現況で各市の事業毎の数値が出ているのであればわけた方が、ここは達成できたけど、こっちは達成できなかったみたいなのがよりわかりやすいのではないかと思います。

最後に78ページ以降の計画事業についてですが、まだ再編実施計画でどうするかということはまだ決まってないんですけど、正直、頭の中にあるのであれば、ここで記載しておいた方が良くと思いますが、しようと思ったときに網形成計画から変更しないといけないということにもなります。ここについては、笠岡市さんとの調整があるのでアドバイスとして、くんでもらえたらと思います。以上です。

事務局：64ページについては、船も踏まえてということなので、それは追加させていただければと思います。67ページ、観光については、①のところにもあると思いますが、④のイメージに含まれています。73ページの指標については、これから高齢化や人口減少がある中では、実際、減少になると思うので、その辺を減らすのではなくて、現状維持ということで、それは各モードすべて合わせたかたちでないと、なかなか難しいと思います、こういうかたちにさせてもらいました。各市の目標というのが定めにくい部分もあります。78ページの再編実施、方向性については、実際に、この計画事業の中で、再編実施計画でやるということを入れないと、実施計画にならない部分があるので、ここは計画事業1の①や計画事業2の①をメインに検討していきたいと考えています。

委員：法律上、再編実施計画をつくらうと思うと、網形成計画の段階で、これは再編実施計画にあげる予定ですよというのを、例えば施策1の横でも良いので書いておかないと、後で入れるということも可能ですが、後ですと結構大変なので、もし現段階で書けるのであれば、書いておいた方が良くと思います。

部会長：つまり、この計画の中で、再編計画ですということが明らかなものは明記する。そして、合わせ技でするものについては、今の段階ではそれなりの書きようをする。ここは少し検討していきましょう。他はいかがでしょう。

委員：例えば、福山市と笠岡市ということで、県で言いますと広島県と岡山県にわかれるかたちですが、県単位でいきますと若干要綱が違う、あるいは補助要件が違うので、そのような違いが出てきた場合、調整というのはこの中でやっていかないといけないと思うのですが、県を跨ぐことにより、プラス面になれば良いのですが、マイナス面というのが今後出てくるのではないかと危惧しています。今後、6年間でどう変わるかというのはわかりませんが、気になるところです。

部会長：どういうことが想定されるかわからないですけど、ただそれほど要綱が違うことが、この計画にどの程度影響があるか、あまり無いとは思いますが。絶対ないとは言えないのですが、あまりそれほどは違わないですよ。

委員：確かに広島県、岡山県で補助の細かい要件とかは変わってくると思います。ただ広島県の目指す姿、岡山県の目指す姿というのがそれぞれあって、それに基づいた事業展開になっているので、正直、確かにそこは違うところは発生してくると思いますが、この場でその調整をするのがふさわしいのかというところがあります。ここはあくまでも福山市さんと笠岡市さんの交通をどうするかという場なので、そういった細かいところの話は県で検討したり、事業者との場などでお話させていただければと思います。

す。

委員：70ページ、ビジョン実現に向けた地域公共交通ネットワークで、タクシー事業の中に乗合タクシーという文言は入らないのですか。

事務局：ここでいうタクシーは、現在のタクシー事業者の通常業務、そのイメージを示しているだけで、タクシー事業者が乗合とかそういうことをされた場合には、バス等の中に入ることとなります。タクシーも公共交通の1つということで、前回、国からも言われておりますので、そういった中でタクシーもモードの1つという文言も入れさせていただいています。

委員：77ページの施策基本方針④の中にICカードシステムの導入等を進めという表現があると思いますが、89ページの運賃に係る取組でICカードの利用エリア拡大を検討すると思いますが、どの範囲のことを意味されているのでしょうか。

事務局：ここでいうICカードはどちらかというと、今、福山市のバス事業者はほぼ入っていますので、入っていない岡山県側の方をイメージしております。

部会長：他はいかがでしょうか。よろしいですか。そしたらこの計画を協議会にあげるので、今日のご意見を踏まえまして、細かい修正については基本的に修正します。大きい点は2ページの計画の位置付けのところの書きぶり、要するに、網形成計画の策定後、具体的なことを考えていきますというところは事務局と私の方で預かり修正をさせていただきたいと思います。あと、78ページ以降に計画事業1というところから、再編実施計画の中で、既に予定されているものについてはこの中に書き込む、これにつきましても事務局と私の方で検討させていただいて、具体的に書けるものはここに書き込むということで対応することにさせていただきたいと思います。

部会長：それでは議事（1）福山・笠岡地域公共交通網形成計画（素案）につきまして、修正点等を含めて、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

（全員挙手）

部会長：ありがとうございます。挙手多数ということで、本件につきましては承認ということにさせていただきたいと思います。議論した内容につきましては、2月6日に予定されております福山・笠岡地域の協議会の方で報告させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。おそらく、今日、我々福山の方で、一方では笠岡の方で同じ議論をしておりますので、その両者を踏まえ、最終的な案をつくって、協議会の方で図らせていただく予定にしておりますのでよろしく願いいたします。

## ②計画の策定及び推進等に係る今後の予定について

事務局：資料により説明。

（質問・意見なし）

部会長：ありがとうございました。

今、一番最後にご説明いただきました、これはあくまでも予定ということなのですが、計画対象区域全体の公共交通マップ作成、これは平たく言うと、今、福山市は福山市、笠岡市は笠岡市で別につくっている交通マップを一緒につくりましょうというイメージでよろしいですか。

事務局：はい、そうです。

部会長：ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

よろしいですか。結構タイトなスケジュールで事務局は大変かと思いますが、今、決

意表明がございましたので、この内容につきまして決議に入らせていただきたいと思います。

議事（２）計画策定及び推進等に係る今後の予定について、承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

部会長：ありがとうございます。挙手多数ということでございます。

以上で、本日予定しておりました協議は終了でございます。

最後に次第の３番「その他」でございます。委員の皆さんからご意見等がありましたらこの場でご発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは他にご意見がないようでございますので、以上をもちまして、議長の役目を終わらせていただきます。

今日はマスタープラン、網形成計画にあたり、忌憚のないご意見をいただきましてありがとうございます。修正点等あるようですが、笠岡の部会から出た意見も踏まえ、最終的に調整をした上で2月6日の協議会の方に臨みたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げたいと思います。委員の皆様には、円滑な議事運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

それでは、進行を事務局へお返しします。

事務局：部会長、大変ありがとうございました。

以上をもちまして、第２回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会福山地域部会を閉会いたします。委員の皆様には長時間にわたって熱心にご議論いただき、誠にありがとうございました。